

学校法人 日本プリンティングアカデミー
理事長 浅野 健



2008年度わが国の社会経済は、地球環境問題、エネルギー資源価格の問題及び米国サブプライムローン問題に端を発した金融危機等多くのグローバルな課題に直面しました。いずれも各国に深刻な影響を与え、実体経済の長期的な低迷が懸念される中、印刷産業界は他産業同様、新たな変革期に突入しております。こうした環境変化を克服していくために、どの組織においても構成員のマンパワーをどのように最大発揮させていくかは、重要な課題と申せましょう。

この観点より、印刷産業に人材を輩出する専門教育機関として本学の役割は、一層高まっております。本学において、主役は学生の諸君であり、すべての活動の基本であります。それぞれ異なる目的を持ち入学された学生諸君が充実したキャンパスライフを過ごして頂き、卒業時には一段高い人格形成を実現されることを目指しています。この目標に向け、カリキュラム上のグループ活動も、主体的に物事を考え、良き仲間との切磋琢磨を通じ、社会人として感性を磨く貴重な経験となるでしょう。

印刷業務の本質は、お客さまのコミュニケーションをサポートすることと捉えることができます。もの作りでフルデジタル化が進み、紙媒体と電子媒体を融合させながら、より興味深い世界に

進化しています。本学在籍中に、その一端でも感じ取って頂きたいと思います。

2007年9月、創立30年を機に、JPA同窓会が発足しました。本学で勉学し活動を共にした多くの仲間がいます。今後も輪が広がり有益なネットワークとして活用されるよう願っております。また印刷産業界フォーラムへの学生、教職員の参加、現役経営者による特別講義等を行い、産業動向や実践経営のあり方等を理解して頂きます。さらに社会人教育の一環として、関連する教育機関ともタイアップし、より質の高い講座の提供も検討し、一層魅力ある学園を目指し最善を尽くして参ります。

2008年には省令改正に基づき、本学運営面の自己点検、自己評価を実施し、着実に改善の取り組みを行っていくと共に、2009年度以降、第三者機関による学校評価の導入も検討の方針であります。

本学の多くの卒業生が、業界の第一線で活躍されていることを喜ばしく思いますと共に、日頃学校運営にご協力いただいている印刷業界、印刷機器、機材関連業界の皆様にご心より感謝申し上げ、今後とも一層のご指導、ご鞭撻を賜りますようお願いいたします。

JPAが目指す実践的“人財”育成 = 創造と調和

1. 教育の目的と資格

印刷産業の進化に貢献するために、印刷・メディアの価値と新しい発展の方向を模索し、それに対応した「経営・マーケティング・生産技術」をバランス良く身につけた実践的リーダー（後継者、中堅幹部）の育成を目指します。

卒業時には文部科学省認定、「専門士（印刷専門課程）」の称号（資格）が与えられます。

2. 教育の基本方針と特徴

企業で役立ち、企業発展の起動力となる実践的“人財”育成という目的（道）を達成するために、企業に近い方法・環境（場）でトレーニング（教育）する「印刷ビジネス道場」です。

そして即戦力の実践力に加え、思考力、問題発見・解決力、研究開発力、コミュニケーション力、リーダーシップ等の人財力養成を目指します。

この基本方針を具現化するために以下のことを教育の特徴とします：

1) 本学への入学（入門）の目的は、印刷メディアの「仕事に強くなる」こと、と心得る。

- ・まず印刷メディアの社会的価値を知る。
- ・自分の職業とすることに誇りと情熱をもつ。

2) 学校的ではなく、道場的に学ぶ。

- ・教える側と教わる側を固定しない。
- ・教わるだけでなく、「教えること」も学ぶ。
- ・問題を出すこと（問題発見）も学ぶ。
- ・先輩、仲間からも教わる意義を理解する。
- ・先生も学生もお互いに切磋琢磨する。

3) 主な教材は印刷の「仕事」で、実践教育の柱となる。

- ・仕事を通じて仕事の仕方を習得する（修）。
- ・仕事を数多く体験し応用力と改善方法を学ぶ（破）。
- ・独創的な問題解決法の研究開発にも挑戦する（離）。
- ・評価は、○か×かではないし、一つでもない。
- ・「場の科学（フィールドサイエンス）」を学ぶ。

4) 仕事（教材）を得るためには、信頼が大切。

- ・どうしたら信頼が身につくのかを体得する。
- ・頭で覚えるのではなく、実践行動で身につける。

5) 仕事は、個人ではなく、個々の能力を生かして組織で行う。（リーダーシップを養成する）

- ・小グループ活動中心の実践教育をする。
- ・組織の中で活動し、自分も組織も活性化できる人になる。＝MODの実践
- ・MODとは、Motivation & Organization Developmentの略で、自分のモチベーションと組織全体の活性化を共に高める組織作りを目指すこと。

6) 仕事に、より強くなるためには、研究開発力と良い人脈（ネットワーク）創りが大切。

- ・企業発展の推進力は研究開発力（R&D）。
- ・解決したい問題が見つかったら、解決案は聞きまくる。（ビジネスカンニング上手になる）
- ・自分も良い人脈（ネットワーク）の一人になる。
- ・ネットワークとは自律した人の相互依存である。

7) 「マナーの良い人」「環境にやさしい人」を目指す。

- ・マナーとは、相手を心地よくさせること。
- ・環境、身の回り、他人に気配りをする。
- ・「木」は印刷の大切な資源、自然に気を遣う。
- ・省エネ、ゴミゼロ及び分別、節煙etc。
- ・5S+α（習慣・姿勢）の実践が基礎となる。

3. 行動の指針

1) 勝手ではなく、自由な行動を志向する。

- ・自由とは、「自分の“すべきこと”と“したい”ことを近づけること」（心のマネジメント）である。

2) 手段の前に目的を考えるよう心掛ける。

- ・まず自分の行動の目的・価値を確認し、次にそれにあった手段を選定する。

3) 「進む時間」と共に「巡る時間」も大切にする。

- ・物理的時間の「矢」（前進）だけでなく、生物的時間の「環」（循環、つながり）も大切にする。

4) 勉強型から学問型へ（新学問のすすめ）

- ・「強いて勉める」ことより“なぜ”と「問うことを学ぶ」＝“学問”を楽しむ。

5) ハード及びソフトウェアだけでなく、ソフトウェアを学び、磨くよう心掛ける。

- ・ソフトウェア（Thought-ware：思考技術）とは、理想的ビジョンを発想し、具現化する技術で、人生でも仕事においても重要になる。

4. 印刷業界に果たしたJPAの役割

1) 教育の成果

- ・全国各地(各県)で卒業生1,000余名が活躍。
- ・業種も一般印刷、軽印刷、製版、パッケージ、シール・ラベル、フォーム、スクリーン、機材販売代理店など全ての印刷関連業種に多くの学生が受け入れられています。
- ・社長、専務等トップマネジメントとして活躍しているOBも年々増えています。
- ・各地域で組合活動に積極的に参加し、その中心的メンバーとして、業界の発展に貢献しているOBも少なくありません。
- ・大手機材メーカーなど関連業界でも、中堅技術者として活躍しており、これらの業界からさらに多くの卒業生が求められています。

2) 研究・開発の成果

- ・次代に役立つシステム、ツールを研究・開発し、業界に広く提供すると共に、実用化のためのアドバイス、コンサルティングをしています。
- ・外部企業との協同研究・開発も行っています。

3) セミナーの協力

- ・個々の企業、団体のニーズに応じて、学内及び学外でのセミナーのマネジメントおよび講師派遣をし、業界発展への協力を積極的に行っています。

4) 業界活動協力

- ・各業界団体の委員会等に講師陣を委員として派遣し、業界発展に協力しています。

5) 出版活動

- ・専門書の出版に対するマネジメント及び執筆に協力し独自の教科書作りと業界のテキスト作りに協力しています。

(例) オフセット印刷技術(JAGAT発行)
印刷の生産管理(JAGAT発行)
世界の印刷技術—現況と展望(PR-IC発行)
変わる印刷業(日本印刷新聞社発行)
2003年からの印刷業界(印刷之世界社発行)

5. 就職状況

DTP・印刷・製本加工などの印刷メディア業種、情報処理・製版印刷機材販売などの関連業種などから求人があります。また、全国に本学と協力関係にある会社、卒業生が経営者の会社などがあり、地元で就職を希望する学生を紹介できます。

6. これからのJPA

近年の印刷産業は、ITも含めハードウェアおよびソフトウェアのグローバル化、ボーダレス化が限りなく進んだ結果、ハードとソフトウェアだけでは付加価値が上げられなくなってきています。従来のハードウェアとソフトウェアが汎用化し、専門性が薄れてきたからです。

しかし、何かプロとしての特別なウェア(技術)がなければ付加価値は期待できず、ビジネスにはなりません。そこでこれからの21世紀に第3のウェアとして注目されるのがソートウェア(= Thought-ware、思考技術)です。

ソートウェアとは：一見不可能そうな理想的ビジョンを構想する発想力であり、それを何とかやりくりして実現可能にし、新たな価値を生み出す。そのような創造的かつ戦略的な問題発見・解決力(マネジメント力)です。新しい価値を生み出す資産です。このソートウェアが、20世紀末から襲ってきた不況を飛躍のチャンスと捉え革新につなげる起動力となります。企業にとっても個人にとってもこれからの発展と進歩のエネルギー源です。

本学は、ハード及びソフトウェアとともに、このソートウェアに重点をおいた人材育成と研究開発を軸にして、業界の発展に寄与できるよう進化していきます。

最近は大卒者、社会経験者の学生比率が著しく増加してきました。それに伴い、本年度より、2年間で印刷専門士の称号取得ができるようにカリキュラムを改訂しました。短期ながらより充実した内容になるよう工夫されています。企業派遣者のための短期コース、インターンシップ併用コース、特別研修生コース等は従来通りです。業界の皆様がそれぞれのニーズと状況に応じてフレキシブルにコース選択できる体制も従来通りです。

設備も常に最新に更新し、実践的かつ先端的な教育環境を整えております。また「ハイパー印刷システム」、「新印刷品質保証システム—QC鳥瞰図」等世界に先駆けたテーマの産学協同研究を推進し、人材育成と実践的研究・開発の両面から印刷業界の発展に一層貢献することを目指します。

本学は2005年、印刷業界を代表して浅野健全印工連前会長が新理事長に就任されたのを機に、「印刷業界立的な学校」の特徴をより発揮していきます。

実務経験豊富な講師陣

<教職員・講師>

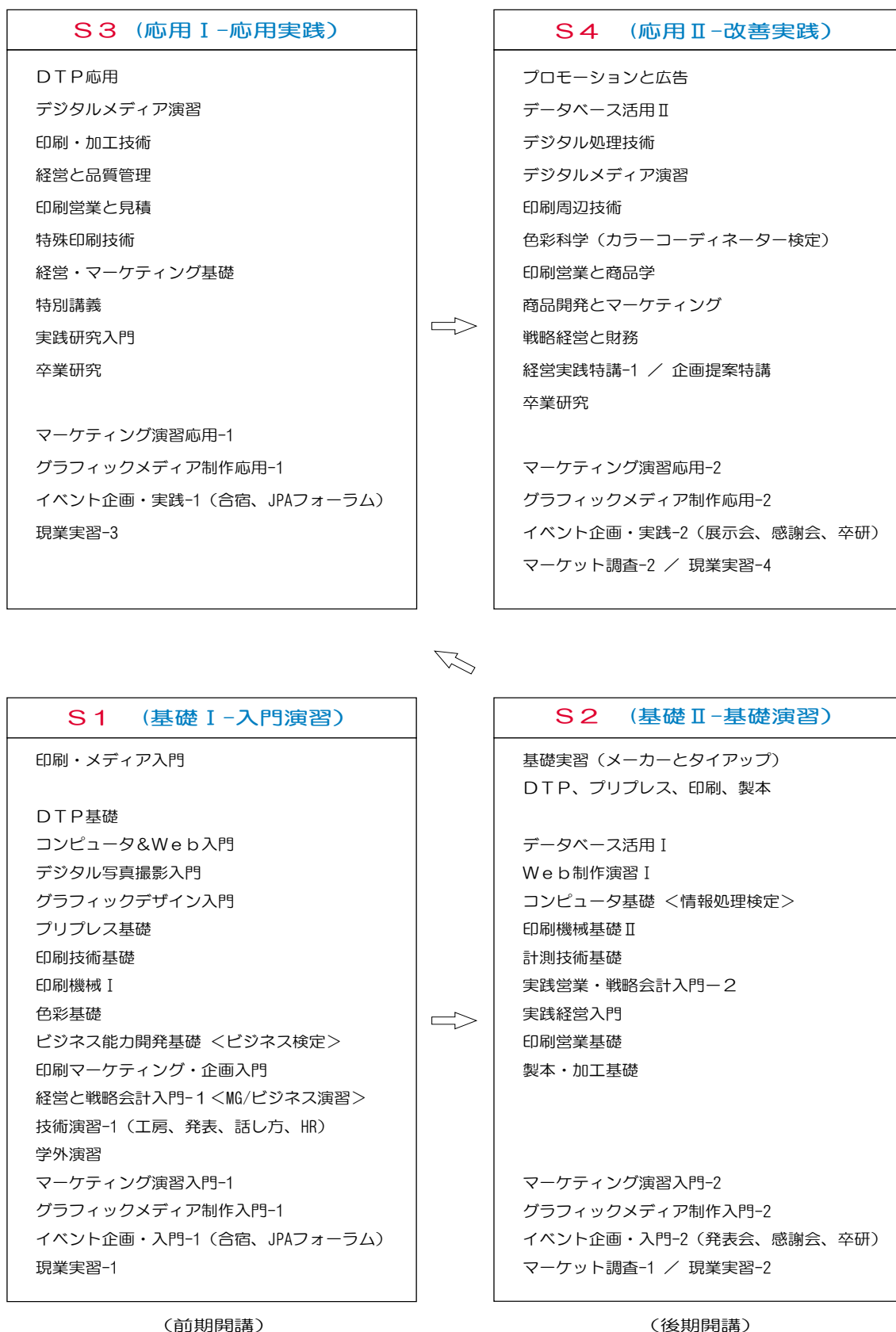
<担当学科>

<実務経験>

| | | |
|-----------------|--|---|
| 濱 照彦 (教授・学校長) | 印刷メディア入門、実践経営入門、色彩学、品質管理、思考技術、世界の印刷メディア産業論 | 千葉大学工短部印刷科での教職経験、印刷・製版の現場経験、独・英国の印刷大学・研究所へ5年間留学 |
| 山内 忠男 (教授・学務部長) | セールス入門・実践演習、印刷商品学、マーケティング、印刷見積 | 印刷会社での商品企画実務経験5年、プリントショップ協議会事務局3年 |
| 内田 和文 (教授・教務部長) | プリプレス技術入門・実践演習、スキヤナワーク、DTP応用、デジタル印刷 | 印刷現場経験8年、スキヤナー中心に製版現場経験3年 |
| 米澤 茂 (準教授) | DTP入門・実践演習、データベース活用法、マルチメディア演習 | アナログ・デジタル製版、画像処理に関する現場経験20年、技術コンサルティング5年 |
| 曹 于鉉 (専任講師) | DTP・印刷技術、ホールインワンSystem | 本学実践研究科卒業(本学16期生) |
| 古谷 芸文 // | 印刷企画・制作、広告論、実践経営 | 広告代理店5年、自社経営6年(本学7期生) |
| 中村 竜 // | コンピュータ、DBと情報処理、インターネット応用 | 本学実践研究科卒業(本学9期生) |
| 鎌野 亮二 (客員教授) | 印刷機械、印刷技術 | 元文祥堂印刷(株)技術顧問、(社)日本印刷技術協会専任講師 |
| 森 貞介 // | 印刷商品開発、ハイタッチメディア論 | 元凸版印刷(株)技術開発本部長 |
| 小林 静史 // | 戦略会計、インターネットMG | (株)戦略MG研究所代表取締役社長 |
| 市原 幸延 // | 印刷文化論 | 元凸版印刷(株)印刷博物館・印刷博物誌編集 |
| 平塚音四郎 // | 写真撮影(アナ/デジ)、デジタル画像処理 | スタジオOTO代表 |
| 兼田 昭雄 (特別講師) | 実践管理特論 | エイト印刷(株)取締役技術開発部長 |
| 田村 佳弘 // | 新技術特論 | 東レ・メディカル(株)理事 静岡工場長 |
| 横関 秀俊 // | 印刷材料特論 | (株)金陽社技術サービス部部長代理 |
| 岩崎 吉夫 // | 印刷材料特論 | (株)明治ゴム化成技術部マネージャー |
| 五十嵐幹雄 // | 印刷インキと印刷適正 | (株)T&K TOKA技術本部チーフリーダー |
| 三井 哲夫 // | 用紙と印刷適正特論 | 王子製紙(株)マネージャー |
| 島崎 肇 // | 潤滑油の種類と選び方 | 新日本油研(株)営業技術部取締役部長 |
| 田中 肇 // | 印刷経営特論 | たなか経営研究所所長 |
| 丸山 政利 // | 並製本基礎 | (株)丸山製本所代表取締役社長 |
| 常川 和勇 // | 上製本基礎 | (株)常川製本代表取締役社長 |
| 木立 孝夫 // | 製本の現状について | (株)平河工業社 |
| 花井 秀勝 // | 提案営業実践論 | 札幌凸版印刷(株)代表取締役社長 |
| 斉藤 不二男 // | 国際化と印刷経営 | (社)日本印刷技術協会相談役 |
| 高田 朋幸 // | シール印刷特論 | タック印刷(株)代表取締役社長(本学6期生) |
| 松根 琢 // | 世界における印刷の品質管理 | (株)メディアワールドコミュニケーションズ代表取締役(本学6期生) |
| 寺沢 晃 // | 企画提案書作成演習、eコマース特論 | (株)DELプランナー(本学8期生) |
| 福田 和也 // | 実践特論 | 誠伸商事(株)専務取締役(本学7期生) |

(その他に、各組合・団体の代表者及び印刷企業、関連メーカーより多数講師を派遣して戴いております。)

時代の変化に対応したカリキュラム



充実した最新設備一覧

画像入力関連

スキャナー

SG-8060P(M T J)
Lanovia Quattro(F F G S)
サファイヤ(ハイデルベルグジャパン)

デジタルカメラ

FinePixS3Pro・18～70mm. F3.5～4.5レンズ
(F F G S)



デジタル処理機器関連

PCハードウェア

(メディアセンター)
・ Windows X11
・ Server X1

(工房)

・ Windows X10
・ Macintosh X10

(研究室)

・ Windows X7

製版関連周辺機器

濃度計 DDM5 (タイマー)
DDM6 (タイマー)
マクベス濃度計(サカタインクス)
X-Rite(日本平版印刷機材)
ライトテーブル(キタムラ)
カラービューアー (キタムラ)

PCソフトウェア

Adobe Creative Suite 3 Design Premium
Adobe Creative Suite 3 Web Standard
O. R. I. S. Works(CGS ジャパン)
O. R. I. S. PDF Tuner(CGS ジャパン)
DTP Spider(F F G S)
イメージアナリストPro(N C D)
ニスフォント一式(N I S)
NewCIDフォント(モリサワ)
Windows版 TrueTypeフォント 一式
(リョービ・リョービイマジクス)
CoreSeparation & CoreImposition(codel)
PDF対応CoreImposition(codel)
超ネタ Vol.1～26(グラパックジャパン)
PHOTOBIT Vol.1～20(グラパックジャパン)
MIXA IMAGE LIBRALY Vol.1～84
(大日本スクリーン製造)
CIP III コンバーター (小森コーポレーション)
PPFメーカー (プロスパークリエイティブ)
Visual Dot(誠伸商事)

イメージセッター

DTR-2035 (M T J)



【資材・機器・基礎実習・共同研究等ご協力企業】(順不同)

富士フィルムグラフィックシステムズ(株)
コニカミノルタグラフィックイメージング(株)
大日本スクリーン製造(株)
(株)メディアテクノロジージャパン
(株)ヤマトヤ商会
コダックポリクロームグラフィックス(株)
(株)きもと
エプソン販売(株)
イメージン(株)
誠伸商事(株)
王子製紙(株)
北越製紙(株)

日本製紙(株)
三菱製紙(株)
(株)竹尾
(株)金陽社
(株)明治ゴム化成
テクノロール(株)
(株)T&K TOKA
東洋インキ製造(株)
東京インキ(株)
共同印刷(株)
(株)モトヤ
(株)モリサワ

(株)写研
日本エーエム(株)
ハマダ印刷機械(株)
リョービイマジクス(株)
(株)小森コーポレーション
D I C(株)
ディックマンローランド(株)
ハイデルベルグジャパン(株)
(株)桜井グラフィックシステムズ
アキヤインターナショナル(株)
篠原商事(株)
(株)ミヤコシ

プルーフ

プリンター

MC-7000(エプソン)
PX-7500(エプソン)

CMS関係

O. R. I. S. Color Tuner
(CGS ジャパン)
Spectro-Scan/Lino
プロファイルメーカー
(きもと)

分光色彩計

SPM60(グレッタグ)
SP 830(テシコン)

刷版・CtP 関連

RIP

Trueflow SE(MT J)
AD-510PM(MT J)
ExpressRIP(codel)

プレートセッター

PlateRite4300(MT J)

プレートプロセッサー

LP-940H II (F F G S)

網点面積測定器

DMS910(テシコン)

水平真空焼付機

P-806-G(MT J)

印刷関連

オフセット印刷機

LITHRONE S-426
(小森コーポレーション)
ハイデルGTO-Z52
(ハイデルベルグジャパン)

デジタル印刷機

ページマスタープロ 6500 フルスペック
(コニカミノルタグラフィックイメージング)
RISOGRAPH SR7400(理想科学工業)

製本関連

断裁機

ポーラ 76EM
(ハイデルベルグジャパン)

自動丁合機

AC-8000S(ホリゾン)

中とじ製本機

SPF-10(ホリゾン)

周辺機器

SSカラーマッチングシステム
(誠伸商事)
加湿器(ピーエス工業)
MC-350
SU-552PR/W-50
D-3001
ハイパー調色専科(東京インキ)
インキ顔色装置カラーチェッカー RIT-02S
トルクレンチ(明治ゴム)
シリンダーゲージ
顕微鏡
PHメーター B-112(堀場)
IONメーター(堀場)
CONDUCTIVITYメーター(堀場)



(株)ミノ・グループ
理想科学工業(株)
ミューラー・マルティニージャパン(株)
(株)ホリゾン東テクノ
共同製本(株)
富士フィルムシンプルプロダクツ(株)
(株)シンクラボラトリー
グラパック・ジャパン(株)
日本紙バルブ商事(株)
日本加工製紙(株)
平和紙業(株)
日本平版機材(株)

ピーエス工業(株)
(株)ニス
アドビシステム(株)
アップルコンピュータ(株)
東レ(株)
(株)一誠社
フュージョン(株)
エイト印刷(株)
(株)厚徳社
壮光舎印刷(株)
相互印刷工業(株)
富士製版(株)

(株)平河工業社
(株)ピクトリコ
(株)プロスパークリエイティブ
内外インキ中国販売(株)
(株)シンポリック・コントロール
(株)テシコン
(株)CGS ジャパン
印刷博物館

業界に役立つ実践的研究開発

1. 印刷技術の標準化と技術革新

1) CCS (カラーコミュニケーションシステム)

在来の網点パーセントを標準化したカラーチャートと異なり、色の三属性(明度・彩度・色相)を基本に作成されたカラーチャートで、発注者と印刷会社間のカラーコミュニケーションを円滑にすることを意図して開発されたものです。

2) デジタルカメラの品質アップとRAWデータワークフロー

TIFF、JPEG に比べ品質面ではるかに可能性を秘め、フレキシビリティもあるRAWデータを使いこなす(標準化する)方法を開発。「標準ソース画像生成システム」がポイント。これによりデジカメ画像の真のワンソース・マルチユースが可能になる。

3) 総合 $\Delta E \leq 1.0$ 以下にする新カラーマッチング法

汎用のインクジェットプリンターと印刷物との色差(ΔE)を1.5以下(殆ど差異を感じさせないレベル)にするCMS法と、それをユーザー自身が簡単に30分程度でカスタマイズできるシステムを構築しました。

4) ハイブリットオープンワークフロー「Print Universe」の開発

デジタル印刷機・CtPの出力機と組み合されている各メーカーの専用RIPを使用しなくてもワークフローを構築できるよう、基本機能全てを汎用ソフト化しWindows PCにインストールするオープンなデジタル環境を開発しました。データ形式もPS、PDF、1bit TIFF等標準フォーマット全てに対応できるフレキシブルなシステムです。

5) 印刷機の受入検査の標準化

印刷機の検収を短時間で効率的に行ない、導入後のトラブルを未然に防ぐために必要なテストパターンの開発と、検収方法を標準化しました。

6) JPAホールインワン(H10) System

準備作業ゼロ、やり直しゼロを目指した画期的なシステムを3つの分野に分けて開発しています。

- ① プレゼンテーション編(VAC)
- ② プリプレス編(BCS・BCR)
- ③ 印刷編(KOMORI ハイパーシステムに搭載)

7) カラー印刷の新品質評価・管理法「QC-Uni. Interface」

発注者の感覚的評価と製造現場の数値管理を相関(一致)させるQCのユニバーサル・インターフェイスを開発。品質のストライクゾーンを数値化したのがポイント。テストチャート(TCM)、3点グレーバランス管理法、QC鳥瞰図が3種の神器。H10システムとの組合せで、5枚目から本紙出しが可能です。

2. 需要創出のための研究、開発

1) 地域活性化のための研究

お店と住民のコミュニケーションのお世話をする「WAVE 文京」を発行。



WAVE 文京 26号と27号の表紙

2) 「イメージマーケティングを支援する「VACシステム」」の商品化

発注者及び消費者の好みを汲み取り、よりハイタッチな印刷商品を創造していく新しいデジタルプレゼンテーションシステムです。

3) 中小印刷業にも適するDBマーケティングの展開

顧客及び自社のマーケティング(市場作りと販売促進の仕掛け作り)に繋がる、DBを活用しての印刷メディア製作。

4) 「コミュニティ活性化の世話による需要創出の仕掛けづくり」の研究

活性化ビジネス事例、地域媒体の実践と提案

5) eコマースによる新種のマーケットとIT対応力の研究

3. 経営革新と後継者問題

1) 乱世を生き抜く経営戦略と理念の立案

2) 経営者のための「キャッシュベース戦略経営鳥瞰図」の考案

3) 「経営の行動指針10ヶ条」の提案

よりグローバルに世界的視野で国際交流活動

新しい印刷人のつながりを世界に広げるとともに、各国の " 根情報 " が常に入手できるよう海外の印刷人と積極的に交流を深めています。

以下に最近のものを報告します。

● スウェーデン STFI-Packforst ペーパー&パッケージ研究所、印刷技術主任研究員、Mr. Magnus Vistroem 氏が昨年 10 月に続いて再来校。特に、本学開発の VAC システムのパッケージデザインへの応用に関心を持ち、協力要請があった。(2008. 3. 12)

● ベトナム大手 LIKSIN CORPORATION・パッケージ印刷会社研究開発担当社長の Mrs. HUYNH THI THU HANG さんが来校。女史が学校長となって創立する印刷専門学校の参考にと、DIC の谷上部長の仲介によるもの。(2008. 4. 4)

● drupa2008 視察に濱学校長と内田教授が PR-IC 国際印刷研究会の仲間 20 名と共に訪独。展示会視察後、ドイツの先進印刷業を調査し、それらについて JPA フォーラムでダイジェストを発表した。従来に準じて報告書を作成中である。(2008. 6. 7-6. 18)



左から、2人目が Schuenemann 会長、4人目が Matare マネージャー

● 第 20 回世界ラベルコンテストの審査で濱学校長がシカゴ(アメリカ)へ出張。今回も全日シール組合(JFLP)の小宮山会長が同席。日本は 27 部門中、8 部門に出品、最優秀賞 6、特別賞 1 を獲得。エントリー部門は例年より少なかったが、入賞確率は非常に高かった。シカゴでは、0B の朝日君(23 期生)と会い旧交を温めつつ情報交換できた。(2008. 9. 6-11)

● カナダ・バンクーバーの Metropolitan Fine Printers 社長 Mr. George Kallas 氏と経理・営業担当重役の Mr. Scott Gray が来校。両氏はプリメデックス公式オープニングセミナーの講師として来日。講演後、本学ブースで "5 枚目から本紙出し" のサンプルを「見ただけでは信じられない」と実演を要望された。それに急遽応え、チョ先生が工房の小森 LS-426 で実演サービスをした。(2008. 9. 18)



刷り出しのサンプルを見て驚く Kallas 社長(中央)

● スウェーデン印刷専門学校の Mr. Torbjorn Edvardsson 教授と Mr. Bo Thulun 教授が来校。本学の研究内容を中心に見学後、今後の交流要請があった。両教授は東京パックがらみの所要で来日。(2008. 10. 10)

● スウェーデン大使館での Stefan Noreen 大使主催の昼食会に濱学校長が招待される。これは Vaermland 州の Mrs. Eva Eriksson 知事の来日を機に催された。同州にある印刷専門学校 BrobyGrafiska 校長 Ms. Inga-Lill Lindqvist 女史が同行、改めて交流養成があった。昨年 5 月来校された Per Branzén 先生も今度は The Packaging Arena (パッケージ産業共同組合) の CEO として同行。スウェーデンとの関係は全て同大使館の勝山プロジェクトマネージャーの仲介によるものである。(2008. 10. 30)

● 姉妹校であるドイツ Stuttgart 印刷・メディア専門大学(HdM)より 17 人目の交換留学生としてパッケージ科 3 年の Ms. Katharin Schubert が短期入校。同大学の必須科目である現業実習を本学工房を中心に行なう。この間 0B が経営する明成孝橋美術と博進紙器製作所でも研修予定である。(2008. 9. -2009. 3.)

楽しく、充実したJPAライフ

1

- ・新春感謝会
- ・2007年度 第8回一日体験入学

2

- ・PAGE'2008(印刷の機材展)見学
- ・2007年度 第9回一日体験入学
- ・実践研究発表会

3

- ・2007年度 第10回一日体験入学
- ・修了・卒業特別研修
- ・現業実習(マーケット調査)
- ・卒業式
- ・リフレッシュ合宿

4

- ・入学式
- ・資材展見学(竹尾ペーパーショー)
- ・印刷会社・展示会・写真スタジオ見学

5

- ・印刷会社・資料館見学(切手の博物館)

6

- ・コミュニケーション合宿
- ・国際総合印刷機材展(2008ドルッパ)での特別研修
- ・印刷関連施設見学(日本印刷会館、江戸東京博物館など)
- ・2008年度 第1回一日体験入学

7

- ・検定試験(ビジネス能力)
- ・JPAフォーラム'2008
- ・2008年度 第2回一日体験入学

8

- ・2008年度 第3・4回一日体験入学
- ・現業実習(自社及び印刷会社)

9

- ・業界経営セミナー(山形県工組、長野県工組)
- ・現業実習報告会
- ・印刷機材展(PRIMEDEX TOKYO 2008)見学と本学展示コーナーでの紹介
- ・JPA同窓会2008

10

- ・基礎実習開始(機材・資材メーカー)
- ・2008年度 第5回一日体験入学
- ・東京小森会に参加

11

- ・2008年度 第6回一日体験入学
- ・地場産業展(文京博覧会)に出展し、本学を紹介

12

- ・検定試験(情報処理活用能力、カラーコーディネーター)
- ・2008年度 第7回一日体験入学
- ・基礎実習終了
- ・BIG MG大会(1年生)



実践研究
発表会

コミュニケーション合宿(埼玉県秩父)



JPAフォーラム
'2008

JPA同窓会2008



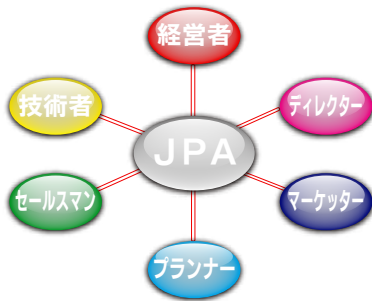
基礎実習



業界で活躍する卒業生

多方面から求められる就職

グラフィック・メディアを核としてあらゆるメディア（マルチメディア）を総合的に教育しているため、DTP・印刷・製本加工などの印刷メディア業種、情報処理・製版印刷機材販売などの関連業種などから求人があります。また、全国に本学と協力関係にある会社、卒業生が経営者の会社などがあり、地元で就職を希望する学生を紹介できます。



マネージャーとして活躍

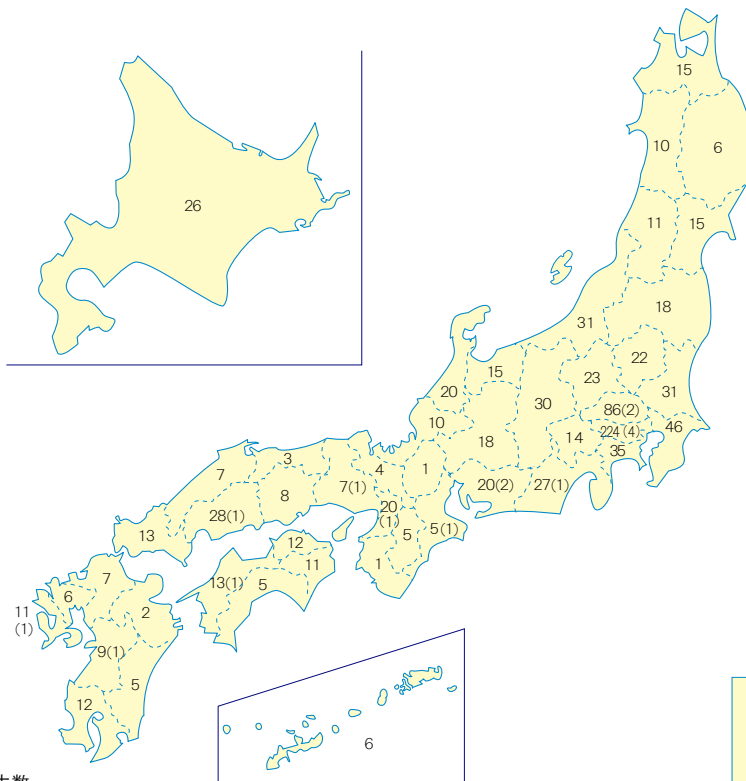


クリエイターとして活躍



エンジニアとして活躍

全国に広がる卒業生のネットワーク



※（ ）内は在校生数

海外留学生 [64名]
 台湾2・韓国19(1)・香港1・タイ3・中国11(1)
 バングラディッシュ2・ガーナ1・スリランカ1
 モンゴル1・インドネシア1・マレーシア3
 ドイツ交換留学生: 17

理事、監事、評議員、顧問一覧

| 役職 | 氏名 | 勤務先等 |
|------|-------|------------------------------|
| 理事長 | 浅野 健 | 株式会社金羊社 代表取締役社長 |
| 常務理事 | 小森 善治 | 株式会社小森コーポレーション 代表取締役社長 |
| 理事 | 山口 政廣 | 社団法人日本印刷産業連合会 会長 |
| 〃 | 添田 隆男 | 株式会社サンライズ 代表取締役社長 |
| 〃 | 小林 博美 | 日本グラフィックコミュニケーションズ工業組合連合会 会長 |
| 〃 | 大鹿 洪司 | 株式会社大鹿印刷所 取締役社長 |
| 〃 | 大橋 淳男 | 東京インキ株式会社 取締役社長 |
| 〃 | 赤坂 洋輔 | 共同印刷株式会社 専務取締役 |
| 〃 | 濱 照彦 | 日本プリンティングアカデミー 学校長 |
| 監事 | 金子 収 | 共同製本株式会社 代表取締役会長 |
| 〃 | 篠原 通夫 | 篠原会計事務所 公認会計士 |

| 役職 | 氏名 | 勤務先等 |
|------|-------|-----------------------------------|
| 評議員 | 浅野 健 | 株式会社金羊社 代表取締役社長 |
| 〃 | 小森 善治 | 株式会社小森コーポレーション 代表取締役社長 |
| 〃 | 石田 明 | 大日本スクリーン製造株式会社 代表取締役会長 |
| 〃 | 鈴木 裕二 | コニカミノルタ グラフィック イメージング株式会社 代表取締役社長 |
| 〃 | 山本 幸平 | ハイデルベルグ・ジャパン株式会社 代表取締役社長 |
| 〃 | 金子 政彦 | 株式会社金精社 代表取締役社長 |
| 〃 | 小宮山光男 | 全日本シール印刷協同組合連合会 会長 |
| 〃 | 城所 虎雄 | 株式会社城所紙工 代表取締役社長 |
| 〃 | 大橋 淳男 | 東京インキ株式会社 取締役社長 |
| 〃 | 福田 七衛 | 誠伸商事株式会社 代表取締役社長 |
| 〃 | 利根川政明 | 利根川印刷株式会社 代表取締役社長 |
| 〃 | 赤坂 洋輔 | 共同印刷株式会社 専務取締役 |
| 〃 | 川村 喜久 | DIC株式会社 取締役 |
| 〃 | 小笠原 誠 | 共同印刷株式会社 取締役総務部長人事部長 |
| 〃 | 井上 伸昭 | 富士フィルム株式会社 取締役執行役員 |
| 〃 | 鎌野 亮二 | 日本プリンティングアカデミー 客員教授 |
| 〃 | 森元 勝夫 | モリモト印刷株式会社 取締役社長（本学 OB 1期生） |
| 〃 | 日比野信也 | 日生印刷株式会社 代表取締役社長（本学 OB 3期生） |
| 〃 | 石橋 理 | 石橋印刷株式会社 取締役社長（本学 OB 5期生） |
| 〃 | 濱 照彦 | 日本プリンティングアカデミー 学校長 |
| 〃 | 山内 忠男 | 日本プリンティングアカデミー 教授（学務部長） |
| 〃 | 内田 和文 | 日本プリンティングアカデミー 教授（教務部長） |
| 最高顧問 | 大橋 貞雄 | 共同印刷株式会社 名誉会長 |
| 顧問 | 高畑 傳 | 元日本プリンティングアカデミー学校長 |